

(別表3-1)モニタリング調査における検出状況(水質・底質)

物質調査番号	調査対象物質	水質 (pg/L)		底質 (pg/g-dry)	
		範囲 (検出頻度)	平均値	範囲 (検出頻度)	平均値
[1]	総 PCB	tr(6.6)~3,400 (48/48)	120	37~640,000 (61/61)	5,700
[2]	HCB	nd~630 (46/48)	10	4.5~10,000 (61/61)	88
[11]	HCH 類				
	[11-1] αHCH	tr(2)~640 (48/48)	35	1.3~2,600 (61/61)	67
	[11-2] βHCH	17~570 (48/48)	100	4.0~4,100 (61/61)	130
	[11-3] γHCH(別名:リンデン)	nd~480 (47/48)	14	tr(0.6)~2,100 (61/61)	23
	[11-4] δHCH	nd~85 (46/48)	5.1	tr(0.2)~2,500 (61/61)	22
[14]	ポリブロモジフェニルエーテル類(臭素数が4から10までのもの)				
	[14-1] テトラブロモジフェニルエーテル類	nd~320 (39/48)	tr(6)	nd~710 (58/61)	15
	[14-2] ペンタブロモジフェニルエーテル類	nd~69 (19/48)	nd	nd~740 (52/61)	9
	[14-3] ヘキサブロモジフェニルエーテル類	nd~8 (5/48)	nd	nd~690 (41/61)	14
	[14-4] ヘプタブロモジフェニルエーテル類	nd~6 (2/48)	nd	nd~1,400 (39/61)	15
	[14-5] オクタブロモジフェニルエーテル類	nd~14 (12/48)	nd	nd~2,000 (50/61)	33
	[14-6] ノナブロモジフェニルエーテル類	nd~150 (27/48)	tr(7)	nd~40,000 (59/61)	310
	[14-7] デカブロモジフェニルエーテル	tr(10)~2,200 (48/48)	110	14~560,000 (61/61)	4,400
[15]	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)	nd~2,500 (47/48)	290	nd~460 (60/61)	44
[16]	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOA)	160~11,000 (48/48)	1,000	tr(3)~190 (61/61)	21
[17]	ペンタクロロベンゼン	tr(2)~360 (48/48)	9	1.2~3,300 (61/61)	29
[20]	総ポリ塩化ナフタレン	nd~260 (32/48)	tr(14)	13~58,000 (61/61)	600
[22]	ペンタクロロフェノール並びにその塩及びエステル類				
	[22-1] ペンタクロロフェノール	nd~3,500 (32/48)	tr(60)	7~6,200 (61/61)	260
	[22-2] ペンタクロロアニソール	nd~210 (20/48)	tr(10)	nd~140 (60/61)	14
[23]	短鎖塩素化パラフィン類				
	[23-1] 塩素化デカン類	nd~2,300 (17/48)	nd	nd~2,600 (8/61)	nd
	[23-2] 塩素化ウンデカン類	nd~5,000 (19/48)	nd	nd~5,900 (22/61)	nd
	[23-3] 塩素化ドデカン類	nd~34,000 (20/48)	nd	nd~83,000 (27/61)	tr(1,100)
	[23-4] 塩素化トリデカン類	nd~38,000 (17/48)	nd	nd~60,000 (39/61)	tr(1,700)
[24]	ジコホル	nd~40 (3/48)	nd	nd~84 (40/61)	4
[25]	ペルフルオロヘキサンスルホン酸(PFHxS)	nd~1,800 (45/48)	150	nd~15 (10/61)	nd

(注1)「平均値」は幾何平均値を意味する。nd(検出下限値未満)は検出下限値の1/2として算出した。

(注2) tr(X)は、Xの値が定量下限値未満、検出下限値以上であることを意味する。

(注3) 短鎖塩素化パラフィン類は塩素数が5から9までのものを測定の対象とした。

また、短鎖塩素化パラフィン類の結果は、測定法に様々な課題がある中での試行において得られた暫定的な値である。

(別表3-2)モニタリング調査における検出状況(生物・大気)

物質調査番号	調査対象物質	生物(pg/g-wet)						大気(pg/m <sup>3</sup> )	
		貝類		魚類		鳥類		温暖期	
		範囲 (検出頻度)	平均値	範囲 (検出頻度)	平均値	範囲 (検出頻度)	平均値	範囲 (検出頻度)	平均値
[1]	総 PCB	350~17,000 (3/3)	2,200	1,000~160,000 (16/16)	12,000	190,000 (1/1)	---	27~340 (36/36)	89
[2]	HCB	12~65 (3/3)	23	12~1,100 (16/16)	100	3,200 (1/1)	---	67~130 (36/36)	96
[11]	HCH 類								
	[11-1] αHCH	4~14 (3/3)	9	nd~130 (12/16)	8	63 (1/1)	---	6.3~230 (36/36)	21
	[11-2] βHCH	11~33 (3/3)	23	3~400 (16/16)	27	950 (1/1)	---	0.38~29 (36/36)	2.3
	[11-3] γHCH(別名:リンデン)	nd~7 (2/3)	tr(2)	nd~34 (13/16)	tr(3)	7 (1/1)	---	0.88~49 (36/36)	6.4
	[11-4] δHCH	nd (0/3)	nd	nd~5 (6/16)	nd	4 (1/1)	---	tr(0.02)~19 (36/36)	0.46
ポリブロモジフェニルエーテル類(臭素数が4から10までのもの)									
[14]	[14-1] テトラブロモジフェニルエーテル類	tr(15)~68 (3/3)	26	tr(10)~210 (16/16)	57	210 (1/1)	---	tr(0.03)~5.5 (36/36)	0.25
	[14-2] ペンタブロモジフェニルエーテル類	tr(5)~28 (3/3)	12	tr(4)~58 (16/16)	17	150 (1/1)	---	nd~6.1 (27/36)	tr(0.10)
	[14-3] ヘキサブロモジフェニルエーテル類	nd~24 (1/3)	nd	tr(12)~290 (16/16)	42	480 (1/1)	---	nd~0.79 (15/36)	tr(0.05)
	[14-4] ヘプタブロモジフェニルエーテル類	nd~tr(18) (1/3)	nd	nd~82 (9/16)	tr(10)	260 (1/1)	---	nd~2.7 (24/36)	tr(0.1)
	[14-5] オクタブロモジフェニルエーテル類	nd~39 (1/3)	tr(8)	nd~120 (8/16)	tr(8)	330 (1/1)	---	nd~2.6 (32/36)	tr(0.2)
	[14-6] ノナブロモジフェニルエーテル類	nd~81 (1/3)	tr(20)	nd (0/16)	nd	nd (0/1)	---	nd~3.1 (34/36)	0.5
	[14-7] デカブロモジフェニルエーテル	nd~tr(180) (1/3)	nd	nd (0/16)	nd	nd (0/1)	---	nd~14 (32/36)	1.8
[15]	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)	tr(2)~140 (3/3)	10	tr(3)~3,600 (16/16)	67	360 (1/1)	---	1.3~7.8 (36/36)	3.8
[16]	ペルフルオロオクタナ酸(PFOA)	tr(2)~tr(5) (3/3)	tr(3)	nd~18 (12/16)	tr(3)	27 (1/1)	---	5.5~46 (36/36)	14
[17]	ペンタクロロベンゼン	7~14 (3/3)	10	3~280 (16/16)	20	470 (1/1)	---	36~110 (36/36)	64
1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン類									
[19]	[19-1] α1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	68~260 (3/3)	140	nd~980 (15/16)	79	1,100 (1/1)	---	nd~4.1 (35/36)	0.5
	[19-2] β1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	nd~tr(22) (1/3)	nd	nd (0/16)	nd	nd (0/1)	---	nd~1.2 (26/36)	tr(0.13)
	[19-3] γ1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	tr(13)~140 (3/3)	34	nd~62 (9/16)	tr(12)	nd (0/1)	---	nd~1.5 (15/36)	nd
[20]	総ポリ塩化ナフタレン	nd~820 (2/3)	84	nd~270 (12/16)	46	170 (1/1)	---	6.5~1,100 (36/36)	100
[21]	ヘキサクロロブタ-1,3-ジエン	---	---	---	---	---	---	nd~5,800 (35/36)	1,500
ペンタクロロフェノール並びにその塩及びエステル類									
[22]	[22-1] ペンタクロロフェノール	13~54 (3/3)	26	nd~57 (14/16)	17	430 (1/1)	---	0.6~22 (36/36)	4.1
	[22-2] ペンタクロロアニソール	tr(2)~15 (3/3)	4	tr(1)~59 (16/16)	5	91 (1/1)	---	4.3~180 (36/36)	30
短鎖塩素化パラフィン類									
[23]	[23-1] 塩素化デカン類	nd (0/3)	nd	nd~tr(700) (5/16)	nd	tr(600) (1/1)	---	tr(100)~1,500 (36/36)	400
	[23-2] 塩素化ウンデカン類	nd~600 (1/3)	nd	nd~1,100 (11/16)	tr(300)	1,400 (1/1)	---	tr(100)~2,300 (36/36)	400
	[23-3] 塩素化ドデカン類	nd (0/3)	nd	nd~tr(900) (2/16)	nd	tr(500) (1/1)	---	nd~1,600 (23/36)	tr(140)
	[23-4] 塩素化トリデカン類	tr(300)~1,100 (3/3)	500	nd~1,300 (11/16)	tr(200)	1,300 (1/1)	---	nd~1,600 (19/36)	tr(90)
[24]	ジコホル	nd~tr(10) (1/3)	nd	nd~120 (12/16)	tr(10)	nd (0/1)	---	nd~0.4 (5/36)	nd

- (注1) 「平均値」は幾何平均値を意味する。nd(検出下限値未満)は検出下限値の1/2として算出した。
- (注2) 「—」は1検体の調査であることから平均値が算定できないことを意味する。
- (注3) 「—」は調査対象外の媒体であることを意味する。
- (注4) tr(X)は、Xの値が定量下限値未満、検出下限値以上であることを意味する。
- (注5) ヘキサクロロブタ-1,3-ジエンの大気については3検体/地点の測定を行っており、範囲は全ての検体における最小値から最大値の範囲で示し、検出頻度は全測定地点に対して検出した地点数で示した。
- (注6) 短鎖塩素化パラフィン類のうち、生物においては塩素数が5から9までのものを測定の対象とし、大気において塩素は塩素数が4から7までのものを測定の対象とした。  
また、短鎖塩素化パラフィン類の結果は、測定法に様々な課題がある中での試行において得られた暫定的な値である。